

# 同種施設比較分析表



## 同種施設比較分析表

町田市が運営している“施設”の中でも「市民センター」「図書館」といった同種の施設に着目して、新公会計制度で明らかになった情報を有効活用するため、同種施設比較分析表を作成いたしました。

同種施設の所管課は、この比較分析表を分析ツールとして、同種施設を相互に比較・分析しました。この分析で明らかになった知見を活用して、成果の拡大や運営コストの削減を図っていきます。各施設のより詳しい内容は、該当の課別・事業別行政評価シートをご覧ください。

- 同種施設の相互比較にあたっては、行政費用を調整している場合があります。このため、同種施設比較分析表における行政費用・単位あたりコスト分析と、該当の課別・事業別行政評価シートにおける行政費用・単位あたりコスト分析では、金額が異なる場合があります。

### <例>

忠生市民センターと忠生図書館は複合施設ですが、貸借対照表における建物(事業用資産)は、忠生市民センター費に計上されています。このため、建物の減価償却費は忠生市民センター費の行政コスト計算書にのみ計上され、忠生図書館事業の行政コスト計算書には計上されていません。

「図書館」という同種施設を比較分析するにあたっては、忠生図書館の建物に係る減価償却費を面積按分により算定し、加算しています。

## 同種施設比較分析表(子どもセンター)

		ばあん	つるっこ	ばお	ただON	まあち
基本情報	該当ページ	48	50	52	56	58
	建設年月日	1999年3月24日	2005年2月1日	2009年3月27日	2014年1月26日	2016年4月30日
	有形固定資産減価償却率	40.8%	29.0%	19.1%	14.1%	3.2%
行政費用	人件費	37,076	41,032	37,456	40,684	46,381
	物件費	11,896	13,329	14,316	10,185	14,057
	うち委託料	6,319	7,768	6,016	5,712	6,626
	うち光熱水費	3,132	3,172	1,919	2,262	4,350
	維持補修費	11,185	11,228	200	647	200
	補助費等	264	396	237	278	317
	減価償却費	10,096	8,032	9,236	14,428	24,713
	賞与・退職手当引当金繰入額	5,509	7,087	8,316	3,285	2,007
	行政費用合計(千円)	76,026	81,104	69,761	69,507	87,675
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	1,339	1,601	1,179	1,564	1,974
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	56,778	50,658	59,170	44,442	44,415
	利用総人数(人)	53,654	70,141	62,337	81,418	131,244
	利用者1人あたりコスト(円)	1,417	1,156	1,119	854	668
	開館日数(日)	291	291	291	288	292
	開館1日あたりコスト(円)	261,258	278,708	239,729	241,344	300,257

### 分析欄

#### ①人件費の特徴について

職員については施設規模、利用者数に応じて配置しています。

#### ②利用者数の特徴について

施設が新しいほうが、来館者が多い傾向にあります。特にまあちは中心市街地という立地にあり、中高生や乳幼児親子が利用しやすく、来館者は増加傾向にあります。

#### ③単位あたりのコストの特徴について

古い施設のほうが、維持補修費がかかるため単位あたりのコストが上昇する傾向があります。2017年度はばあん、つるっこで大規模修繕を行ったため、行政費用が増加し、単位あたりのコストも高くなっています。

## 同種施設比較分析表(図書館)

		中央	さるびあ	鶴川 <sup>※1</sup>	金森 <sup>※1</sup>	忠生 <sup>※2※3</sup>	木曾山崎	堺 <sup>※2</sup>	鶴川駅前 <sup>※2</sup>
基本情報	該当ページ	146	148	150	152	154	156	158	160
	建設年月日	1990年4月16日	1972年5月22日	1972年2月15日	2000年7月4日	2015年2月27日	1976年3月25日	1983年9月25日	2012年8月31日
	有形固定資産減価償却率	52.4%	83.4%	—	—	—	48.7%	—	—
行政費用	人件費	354,024	103,857	40,022	72,450	66,995	45,576	51,275	71,075
	物件費	94,069	27,015	15,216	34,335	38,062	15,770	22,231	47,580
	うち委託料	9,282	6,901	1,702	6,974	12,577	2,147	9,354	21,430
	うち光熱水費	17,868	3,538	1,085	3,171	1,440	1,378	730	2,316
	維持補修費	6,639	1,296	0	432	0	9,876	229	100
	補助費等	53,014	18	163	9	9	7	7	9
	減価償却費	32,007	2,253			25,599	3,177	2,408	19,469
	賞与・退職手当引当金繰入額	16,119	8,315	2,281	13,453	4,050	2,911	1,592	3,676
	行政費用合計(千円)	555,872	142,754	57,682	120,679	134,715	77,317	77,742	141,909

単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	5,968	1,260	260	1,500	1,266	321	430	1,344
	1㎡あたりコスト(円)	93,142	113,297	221,854	80,453	106,410	240,863	180,795	105,587
	貸出者数(人)	400,776	101,024	63,719	189,876	129,436	67,612	23,378	174,622
	貸出者1人あたりコスト(円)	1,387	1,413	905	636	1,041	1,144	3,325	813
	開館日数(日)	294	300	300	300	300	264	127	300
	開館1日あたりコスト(円)	1,890,721	475,847	192,273	402,263	449,050	292,867	612,142	473,030
	貸出点数(点)	1,104,527	381,032	205,251	701,076	551,266	213,265	104,036	541,438
	貸出点数1人あたりコスト(円)	503	375	281	172	244	363	747	262

※1 URから有償で借りて運営している鶴川、東京都から無償で借りている金森については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。有形固定資産減価償却率を空欄にしています。

	忠生	堺	鶴川駅前
減価償却費(千円)	53,808	16,032	86,612
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,687	2,863	5,979
図書館面積(m <sup>2</sup> )	1,266	430	1,344
按分減価償却費(千円)	14,534	2,408	19,469

※3 忠生図書館の減価償却費は、建物減価償却費14,534千円及び重要物品減価償却費11,065千円を合算して25,599千円としています。

### 分析欄

#### ①人件費の特徴について

中央図書館、中規模館(さるびあ・金森・忠生・鶴川駅前)、小規模館(鶴川、木曾山崎、堺)の3グループでそれぞれ人員配置数が異なるため、それに従った人件費を支出しています。中央図書館は他の図書館のバックアップに加え、レファレンス(参考調査)、視覚障がいのある方への対面朗読や録音図書資料、来館困難者への宅配サービス、視聴覚資料等の独自サービスを行っているため、人員を多く配置しています。さるびあ図書館と堺図書館は移動図書館を運営しているため、他の同規模館より人員を多く配置しています。

#### ②施設規模の特徴について

施設運営のため最低限必要な人員を配置しているため、小規模館の1㎡あたりコストが高くなっています。

#### ③貸出者数・貸出点数の特徴について

金森図書館は中規模館としては貸出者数・貸出点数が非常に多いため、単位あたりコストが低くなっています。

#### ④2016年度とのコスト比較

忠生図書館以外は貸出者数と貸出点数が減少しました。金森図書館と木曾山崎図書館以外の図書館の行政コストが下がった主要因は、人件費及び賞与・退職手当引当金繰入額の減少です。また、中央図書館、さるびあ図書館、忠生図書館は貸出関係コストも減少しています。逆に金森図書館や木曾山崎図書館は賞与・退職手当引当金繰入額が増加したため、堺図書館は設備工事に伴う7か月の休館をしていたため、貸出関係のコストが上昇しています。

## 同種施設比較分析表(市民センター)

		忠生 <sup>※1※2</sup>	鶴川 <sup>※1</sup>	南	なるせ駅前	塚 <sup>※1</sup>	小山
基本情報	該当ページ	342	344	348	352	354	356
	建設年月日	2015年2月27日	1985年10月15日	1987年2月2日	1996年3月19日	1983年3月1日	1995年1月25日
	有形固定資産減価償却率	12.3%	38.8%	61.6%	44.1%	49.5%	45.0%
行政費用	人件費	83,062	120,989	71,726	95,758	63,082	68,594
	物件費	35,182	20,016	21,684	18,106	18,604	21,521
	うち委託料	28,656	14,905	13,929	11,847	12,138	12,945
	うち光熱水費	4,112	3,343	6,165	5,071	3,523	6,999
	維持補修費	731	1,132	3,804	1,225	1,267	4,617
	補助費等	0	0	0	0	0	0
	減価償却費	35,454	28,362	13,440	18,216	11,614	31,105
	賞与・退職手当引当金繰入額	4,065	15,952	11,626	4,703	7,733	15,993
行政費用合計(千円)	158,494	186,451	122,280	138,008	102,300	141,830	
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	3,056	2,087	2,117	2,077	2,074	2,788
	1㎡あたりコスト(円)	51,869	89,339	57,753	66,459	49,318	50,875
	取扱総件数(件) <sup>※3</sup>	60,196	94,507	64,312	81,372	37,889	53,178
	取扱件数1件あたりコスト(円)	1,623	1,432	1,230	1,246	1,864	1,406
	利用総人数(人) <sup>※4</sup>	96,487	86,951	71,274	86,199	24,420	65,044
	利用者1人あたりコスト(円)	630	588	606	425	1,297	1,031
	開館日数(日)	359	357	357	357	306	359
	開館1日あたりコスト(円)	441,487	522,272	342,521	386,577	334,314	395,070

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	忠生	鶴川	塚
建物減価償却費(千円)	53,808	35,469	16,032
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,687	2,610	2,863
市民センター面積(m <sup>2</sup> )	3,056	2,087	2,074
按分減価償却費(千円)	35,084	28,362	11,614

※2 忠生の減価償却費は、建物減価償却費35,084千円及び重要物品減価償却費370千円を合算して35,454千円としています。

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

### 分析欄

#### ①光熱水費の特徴について

建替えを行った忠生や大規模改修を行った鶴川は、省エネルギー機器の導入等により、他の市民センターと比較し延床面積に対する光熱水費の割合が低くなっています。

南は大規模改修が行われたことがなく、有形固定資産減価償却率は61.6%と突出しています。構造上空調の効率が悪いため、他の市民センターと比較し延床面積に対する光熱水費の割合が高くなっています。

#### ②利用総人数の特徴について

忠生は建替え以降、施設利用率が向上しており、他施設に比べ利用総人数が最も多くなっています。

#### ③単位あたりコストの特徴について

塚は9月から3月まで設備更新工事により施設貸出を休止したため、施設の利用人数が少なくなり、利用者1人あたりコストが高くなっています。設備更新工事期間中の委託料や光熱水費が減少したため、開館1日あたりのコストは低くなっています。

なるせ駅前成瀬駅から徒歩2分という利便性から利用総人数が多く、利用者1人あたりコストが最も低くなっています。

## 同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

		成瀬	木曾森野 <sup>※1</sup>	三輪 <sup>※2※3</sup>	つくし野
基本情報	該当ページ	320	322	324	326
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	—	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	20.2%	—	33.4%	45.5%

行政費用	人件費	9,235	4,564	6,070	4,506
	物件費	22,306	13,310	13,904	13,826
	うち委託料	15,917	9,432	9,957	9,557
	うち光熱水費	5,683	3,279	3,321	3,606
	維持補修費	1,510	24,621	9,350	341
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	72,241		4,948	9,687
	賞与・退職手当引当金繰入額	116	29	110	29
	行政費用合計(千円)	105,408	42,524	34,382	28,389

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	1,850	1,000	1,190	1,003
	1㎡あたりコスト(円)	56,968	42,531	28,904	28,292
	利用総人数(人)	70,834	39,800	34,718	55,091
	利用者1人あたりコスト(円)	1,488	1,068	990	515
	開館日数(日)	347	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	303,769	122,548	99,084	81,813

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(㎡)	1,488
コミュニティセンター面積(㎡)	1,190
按分減価償却費(千円)	4,948

※3 複合施設である三輪の物件費(光熱水費)については実績値に基づく調整をしているため、事業別行政評価シートとは金額が異なります。

### 分析欄

#### ①人件費の特徴について

成瀬及び三輪は職員配置の違いにより、他施設に比べ人件費が高くなっています。

#### ②利用者数の特徴について

成瀬は他施設に比べ部屋数や駐車場などが充実しているため、利用総人数が最も多くなっています。

#### ③行政費用の特徴について

成瀬は他施設と比べて延床面積が多く、そのことから、管理する区域や設備が多いため、総合管理委託費用・設備保守点検費用が高くなっています。

木曾森野、三輪は2017年度、例年にはない大規模な修繕工事(冷温水発生機等更新工事、外壁改修工事など)により、維持補修費が高くなっています。

## 同種施設比較分析表(連絡所)

		町田駅前 <sup>※1</sup>	木曽山崎 <sup>※2</sup>	玉川学園駅前	鶴川駅前 <sup>※2</sup>	南町田駅前 <sup>※1</sup>
基本情報	該当ページ	336	338	340	346	350
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	1974年5月1日	2012年9月29日	2017年3月1日
	有形固定資産減価償却率	—	60.0%	60.6%	—	—

行政費用	人件費	41,281	30,827	22,061	32,170	31,184
	物件費	17,471	20,583	10,696	1,327	12,319
	うち委託料	31	12,498	7,911	929	1,390
	うち光熱水費	574	6,804	2,054	174	1,152
	維持補修費	0	1,966	630	0	0
	補助費等	0	0	0	0	0
	減価償却費		11,944	4,657	971	
	賞与・退職手当引当金繰入額	2,547	2,028	2,969	2,287	1,930
	行政費用合計(千円)	61,299	67,348	41,013	36,755	45,433

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	109	1,611	595	67	121
	1㎡あたりコスト(円)	562,376	41,805	68,929	548,582	375,200
	取扱総件数(件) <sup>※3</sup>	79,567	17,218	26,992	40,237	40,955
	取扱件数1件あたりコスト(円)	770	1,892	796	913	1,109
	利用総人数(人) <sup>※4</sup>	-	72,256	54,153	-	-
	利用者1人あたりコスト(円)	-	481	361	-	-
	開館日数(日)	343	356	357	322	343
	開館1日あたりコスト(円)	178,714	189,180	114,882	114,146	132,458

※1 町田駅前、南町田駅前連絡所は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,607	86,611
複合施設全体面積(㎡)	2,105	5,979
連絡所面積(㎡)	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,944	971

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

### 分析欄

#### ①各施設の特徴について

町田駅前、鶴川駅前、南町田駅前は行政窓口業務を行い、木曽山崎、玉川学園駅前は行政窓口業務と施設貸出業務を行っています。

#### ②人件費の特徴について

小田急百貨店内にある町田駅前連絡所は、最も乗降者数が多い町田駅前に位置しているという利便性から、他施設より取扱件数が多く、それに対応する人員を配置しているため、人件費が高くなっています。

#### ③取扱総件数、利用総人数の特徴について

木曽山崎はアクセスの良い駅前の他施設と比べると、駅からやや遠方に位置するため行政窓口の取扱件数が少なくなっています。一方で、玉川学園駅前より建物が大きいことから貸出施設が多く、期日前投票所や打楽器等の練習場所などとして広く利用されているため、施設の利用人数が多くなっています。



## 同種施設比較分析表(ふれあい館)

	もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 <sup>※1</sup> (町田)	くぬぎ館 <sup>※1</sup> (木曾山崎)	けやき館 <sup>※1</sup> (塚)	桜館 <sup>※2</sup> (小山田)	
基本情報	該当ページ	214	216	218	220	222	224
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	67.6%	55.1%	—	—	—	44.6%
行政費用	人件費	17,157	17,726	17,699	19,680	17,161	1,519
	物件費	9,609	10,114	6,843	6,898	3,076	31,938
	うち委託料	5,076	5,553	3,820	3,818	1,993	30,698
	うち光熱水費	2,517	3,417	2,512	2,083	611	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 <sup>※3</sup>						5,196
	指定管理委託料 うち人件費 <sup>※3</sup>						16,106
	維持補修費	5,339	706	676	601	192	0
	補助費等	126	292	269	114	58	0
	減価償却費	2,422	4,838	4,494	3,659	2,012	11,656
	賞与・退職手当引当金繰入 額	0	0	0	0	0	95
	行政費用合計(千円)	34,653	33,676	29,981	30,952	22,499	45,208
単位あたり コスト分析	延床面積(㎡)	581	720	826	493	359	1,074
	1㎡あたりコスト(円)	59,644	46,805	36,307	62,726	62,671	42,093
	利用総人数(人)	24,832	34,050	33,968	53,981	7,204	19,751
	利用者1人あたりコスト(円)	1,395	989	883	573	3,123	2,289
	開館日数(日)	289	295	295	295	125	219
	開館1日あたりコスト(円)	119,907	114,156	101,631	104,922	179,992	206,429

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	24,105	15,607	16,032	30,649
複合施設全体面積(㎡)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(㎡)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,494	3,659	2,012	11,656

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出

※3 受託法人の決算資料から転記

### 分析欄

#### ①人件費(指定管理委託料のうち人件費)の特徴について

直営5館の平均と比較すると、指定管理者制度を導入している桜館は約10分の1程度に抑えられていますが、指定管理委託料のうち人件費を含めると同程度になります。

#### ②利用総人数の特徴について

現況の利用者は固定しており、年々高齢化や施設入所に伴い、来館できなくなった方が増えていると考えられます。また、新規の利用登録者は少ない実情にあります。以上のことにより、ふれあい館全体で利用総人数は減少傾向にあり、それに伴い利用者1人あたりのコストは増加していく見込みです。今後は、館事業の管理運営コストの削減を図るため、ふれあい館総体として、効率的・効果的な管理運営体制への見直しを検討します。(2019年度・2020年度)

その他各館の利用総人数の特徴として、くぬぎ館は他館と比較して多くなっています。山崎団地等の高齢者が多く居住している大規模な団地に隣接していることが要因の一つです。けやき館と桜館は休館期間があったため、他館と比較して少なくなっています。

#### ③物件費の特徴について

直営5館のうち、建物内でふれあい館事業のみを行っている単館より、その他の事業を行っている複合館の方が低い傾向にあります。

#### ④減価償却費の特徴について

桜館において、他の5館と比較すると面積が広いため、減価償却費が高くなっています。

#### ⑤開館日数の特徴について

けやき館と桜館は休館期間があったため、他館と比較して少なくなっています。